

して速度を求める。

- ② ⑦付近で、川原から対岸に進むにつれて、川の深さがどのように変わっているか、また、川底の様子の違いなどについて、水中のぞき箱などを利用し調べてみよう。
- ③ ④付近の川原と対岸の川岸の違いを観察しよう。流水のどのようなはたらきによって、このような違いがおこるのだろうか。
- ④ 川原でも、高い場所と低い場所がみられるが、それぞれの場所のレキの大きさの違いを観察してみよう。低い場所では砂や小さなレキが多く、高い場所では、大きなレキが目立つが、どうしてこのような違いがあるのだろうか。
- ⑤ 流水のはたらきと川原や中州のでき方、川岸のけずられ方や川の蛇行についてまとめよう。

(4) 川原のレキを調べる。

①付近で、レキのつもり方が平均している所を選び、1 m四方の方形枠を置く。

方形枠内の表面にみられる長径5 cm以上のレキをビニルシート上にとり出す。



① 大ききで分ける。

レキの大ききによって、5～10 cm, 10～15 cm, 15 cm以上に分け、その数を調べる。

② レキの形で分ける。

レキの形で、まるい石、ややまるい石、角ばった石に分け、その数を調べる。

③ レキの多くは、安山岩、花崗岩で、このことから、上流の吾妻火山をつくっている岩石を推定することができる。

④ 調べた結果を表にまとめる。

大 き さ (cm)			レキの形			種 類			
5～10	10～15	15以上	円	罎円	角	安山岩	花こう岩	凝灰岩	珪岩
53	12	0	16	41	8	48	5	8	4
82%	19%	0%	25%	63%	12%				